



十四山中学生の土のう作り訓練

海部地方総合防災訓練

6月3日、木曾三川公園東海広場(愛西市)で海部地方総合防災訓練が行われました。この訓練は大規模災害発生時の防災力を強化することを目的に行われ、各関係機関あわせ約800名が参加しました。市からは消防団、十四山中学校、海翔高校などが参加し、土のう作り・土のう積み訓練や、災害ボランティアの受け入れセンターの設営訓練などのさまざまな訓練に参加し防災への理解を深めていました。

弥富をPR!

6月8~10日、久屋大通公園(名古屋市中区)で開催された「第5回手羽先サミット2018」と同時開催の「第2回あいじめし地域応援合戦!!」に弥富市が初めて参加しました。

ブースでは、「やとみスイートハートプロジェクト」のメンバーや椋山女学園大学の学生、市と連携協定を結んでいる愛知大学の学生が参加し、金魚スイーツの販売や金魚すくいを行いました。また、ステージでは、ミス弥富金魚・ミス弥富と「きんちゃん」が登場し、多くの来場者に市のPRを行い、会場を盛り上げていました。



弥富市ブースの様子



盛り上がる会場の様子

弥富音フェス 2018

5月26日、総合社会教育センターで、「弥富音フェス2018」が開催されました。イベント主催の市内のダンスサークルY A T O X I L Eをはじめ、20組以上のダンスチームや歌手などのアーティストが出演する、手作りの音楽フェスで、今年で2回目の開催となりました。会場には約400名の市内外の方が来場し、歌やダンスの披露を楽しんでいました。

また、Y A T O X I L Eには、第37代ミス弥富金魚の富山夏樹さんが所属しており、市内のイベントでミスとして登場する際とは違ったダンサーの姿を披露し、会場を盛り上げました。



市ホームページ内フォトギャラリーや公式ツイッターでもまちの話題を紹介しています!



ハウストマトの収穫



白熱した地区別対抗リレー

十四山地区体育祭

5月27日、コミュニティ主催の体育祭が開催されました。十四山地区では、快晴の中行われ、徒競走や綱引き、玉入れなどの競技が行われました。

地区独自の競技の「炎のチャレンジャー」では、4人5脚でスピードを競い、今回、ギネス賞の7秒3という新記録ができました。

また、地区別対抗リレーでは、各地区が優勝をめざし、白熱したレースを繰り広げていました。

地域をきれいに

5月28日、桜小学校の全校児童が輪中公園の清掃を行いました。

これは、道徳教育の一環で、地域の方とふれあい、地域のために活動することを通じて、地域の一員であることを自覚し、公德心などを育てる取り組みです。初めに、安江校長が「普段、市民の皆さんが利用している公園を、気持ちよく過ごせるようにみんなで協力して綺麗にしましょう」と児童らに話しました。

児童らは、地域の方や保護者と共にごみや落ち葉を拾い、草取りなどを行い、綺麗になった公園を後にしました。



協力して輪中公園の清掃を行う児童

やとみ 歴史探訪

このコーナーでは、弥富市のまだまだ知られざる歴史について、弥富ふるさとガイドボランティアが紹介していきます。

明治の東海道(その2)

今回から、明治の東海道沿いの旧跡をいくつか紹介します。歴史民俗資料館から東に歩いてすぐのところに、蓮如堂があります。今から400年ほど前、美濃の大垣城主であった伊藤彦兵衛盛宗は、関ヶ原の戦いで敗れて安八郡の満福寺(現在の大垣市)に逃げ延びました。そこで、安八郡の女人衆から蓮如上人直筆の画像を託されました。その後、盛宗は木曾川河口の前ヶ須にたどり着き、そこに草庵を造り画像を本尊としてまつりました。明治時代には、本尊の管理が村に託され、村の寺として蓮如堂ができました。

昭和26年の前ヶ須の大火で蓮如堂は焼失してしまいましたが、本尊は無事でした。寺は翌年、旧佐織町勝幡の光坊堂の建物を譲り受け移築して現在に至ります。

蓮如堂の前の通りでは、毎年4月に蓮如まつりが開催されています。まつりの期間中は、本尊を見学することができます。

蓮如堂の前には、明治の東海道を整備し、前ヶ須の宿駅の完成にも尽力した村田宗之助の墓石もあります。



▲蓮如堂